第 7 講　武家政権の確立
PART1 源平の争乱と鎌倉幕府の成立

Chapter 1　源平の争乱

目標
反平氏の挙兵が各地で起こったのはなぜだろう？
源頼朝の挙兵時に東国武士が多く従ったのはなぜだろう？

1　清和源氏の挙兵

治承・寿永の乱〔源平合戦〕（1180 ～ 85 年）の開始

※後白河院政を停止し独裁政権を確立した平氏への，各勢力からの不満が爆発した。

1180 年　5 月　〔1　　　　　　〕（後白河法皇の子）・**源頼政**（摂津源氏）が挙兵

※園城寺〔三井寺〕や興福寺の僧兵の支持を得て挙兵するが敗死。

6 月　摂津国〔2　　　　　　〕に遷都

8 月　〔3　　　　　　〕が**以仁王の令旨**により北条時政とともに伊豆国で挙兵

※相模国**石橋山の戦い**で平氏に敗れ，安房国に逃れる。

9 月　**源〔木曽〕義仲**が**以仁王の令旨**により信濃国で挙兵

10 月　源頼朝，相模国〔4　　　　　〕に入る

駿河国**富士川の戦い**（○源頼朝 vs 平維盛●）

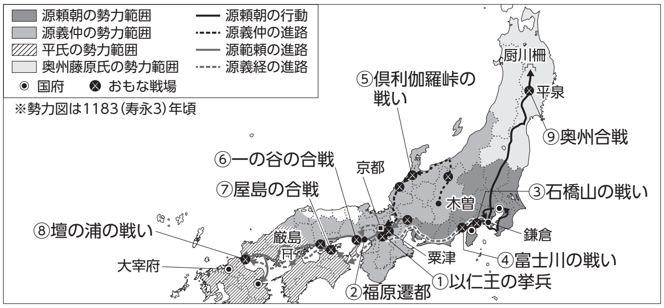
※頼朝は周囲の武士のすすめで関東の平定を優先。

11 月　貴族や寺社の反対が多く平安京に還都

※建設中の福原京を放棄し，畿内の鎮定をはかる。

12 月　平重衡が南都（＝奈良）焼打ち

※東大寺大仏殿が炎上。



源平合戦

2 桓武平氏の滅亡

荘園領主や国司に対抗して
支配権を強化・拡大しようとしていた地方の武士団（=在地領主）が活躍。
※東国では，源頼朝を中心とする新たな政治体制の成立に期待した。

1181年 1月 後白河法皇の院政が復活
閏2月 〔5　　　　　　〕が熱病により死亡
※三男の宗盛が棟梁となる。
4月 畿内・西国一帯に養和の飢饉起こる
1183年 5月 越中国倶利伽羅峠〔砺波山〕の戦い（○源義仲 vs 平維盛●）
7月 平氏が〔6　　　　　　〕を奉じ西国へ都落ち
※源義仲が入京。後白河法皇は**後鳥羽天皇**を立てる。
10月 **後白河法皇が源頼朝の東国支配権を承認**
※いわゆる「**寿永二年十月宣旨**」。源頼朝は，
弟の**源範頼**と〔7　　　　　　〕を大将とする軍を西国に派遣。
11月 源義仲が後白河法皇を幽閉
1184年 1月 山城国宇治川の戦い
（○源範頼・義経 vs 源義仲●）
※源義仲は近江国粟津で戦死。
2月 摂津国**一の谷の戦い**
（○源範頼・義経 vs 平氏●）
1185年 2月 讃岐国**屋島の戦い**
（○源義経・範頼 vs 平氏●）
3月 長門国〔8　　　　　　〕**の戦い**
（○源義経・範頼 vs 平氏●）
※海戦に敗れた安徳天皇らは入水自殺，平氏は滅亡。

源義経

まとめ
平氏が急速な独裁体制を確立したため，各勢力の不満が噴出した。
東国武士団は，源頼朝を中心とする新たな政治体制の成立に期待した。

Chapter 2　鎌倉幕府の成立

目標
鎌倉幕府の成立年代に諸説があるのはなぜだろう？
源頼朝が弟の義経を死に追い込んだのはなぜだろう？

1　鎌倉幕府の成立過程

初代の「鎌倉殿」と呼ばれるようになった〔1　　　　　　〕（河内源氏）による幕府創設。

1180年代～90年代ころの**鎌倉幕府**成立から
滅亡する1333年までの約150年を〔2　　　　　　〕と呼ぶ。

1180年　相模国**鎌倉**に入り〔3　　　　〕の設置

1183年　「寿永二年十月宣旨」で東国（東海道・東山道）支配権を事実上承認される

1184年　公文所・〔4　　　　　〕を設置

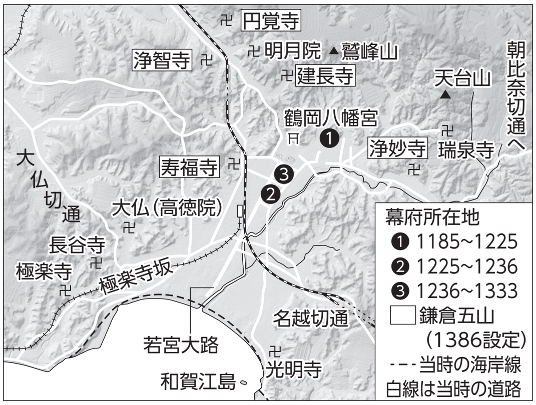
1185年　**守護・地頭の任命権**を認められる（＝文治勅許）
※段別5升の兵糧米徴収権，諸国の在庁官人の支配権とともに
後白河法皇から認められる。
※義経に与えられた頼朝追討令に対抗したもので，〔5　　　　　〕（弟）・
源行家（叔父）の追討および反乱防止が口実。頼朝の勢力は西国へも伸び始める。

1189年　藤原泰衡が匿っていた源義経を衣川館で殺害
※この後，奥州藤原氏を平定（〇源頼朝 vs 藤原泰衡）し，東北にも勢力が伸長。

1190年　上洛して後白河法皇から**右近衛大将**に任命されるがまもなく辞退

1191年　公文所を〔6　　　　〕と改組
「建久新制」により幕府が全国の治安維持の担い手として位置づけられる

1192年　**後白河法皇が没し，**
後鳥羽天皇から
〔7　　　　　　　　　〕
に任命される



鎌倉周辺図

2　鎌倉幕府のしくみ

簡素で実務的。

京から下向し御家人となった中下級貴族らが，法や行政の知識面で源頼朝を補佐した。

①中央（鎌倉）

A　**将　軍**（1192 年）　征夷大将軍，初代将軍は源頼朝。

B　執　権（1203 年）　将軍の補佐，初代執権は北条時政。

C　連　署（1225 年）　執権の補佐，初代連署は北条時房。

D　**侍　所**（1180 年）　御家人を組織，**初代別当**は〔8　　　　　〕。

E　**政　所**（1191 年）　一般政務・財政，**初代別当**は〔9　　　　　〕（もと貴族）。

※はじめ公文所（1184 年）。

F　**問注所**（1184 年）　裁判事務，**初代執事**は〔10　　　　　〕（もと貴族）。

G　評定衆（1225 年）　重要政務の評議。

H　引付衆（1249 年）　所領関係の裁判。

②地方

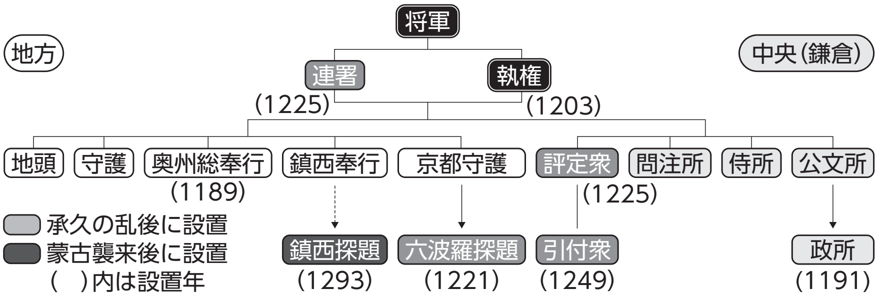
A　六波羅探題（1221 年）　朝廷の監視・西国御家人の統制。

※はじめ**京都守護**（1185 年）。

B　**奥州総奉行**（1189 年）　奥州御家人の統制。

C　**鎮西奉行**（1185 年）　九州御家人の統制，大宰府の実権も握る。

※鎮西探題の設置（1293 年）により権限縮小。



鎌倉幕府の機構

まとめ

何をもって鎌倉幕府成立と考えるのかが定まっておらず，
成立年代には諸説がある。
「鎌倉殿」として独裁体制を確立するため，源頼朝は弟の義経を排除した。

第 7 講　PART 1　確認問題

1 平氏打倒のため，以仁王とともに挙兵して敗死した源氏の武将はだれか。

① 源範頼　② 源義平
③ 源義経　④ 源頼政

2 以仁王の令旨により信濃国で挙兵した源氏の武将はだれか。

① 源義平　② 源範頼
③ 源〔木曽〕義仲　④ 源頼朝

3 次の源平合戦のうち，3 番目に起こった戦いはどれか。

① 屋島の戦い　② 富士川の戦い
③ 一の谷の戦い　④ 石橋山の戦い

4 1185 年，讃岐国で起こった戦いはどれか。

① 壇ノ浦の戦い　② 石橋山の戦い
③ 宇治川の戦い　④ 屋島の戦い

5 源頼朝が相模国鎌倉に入った 1180 年に設置したのはどれか。

① 問注所　② 公文所
③ 政所　④ 侍所

6 源頼朝は 1192 年に征夷大将軍に任命されたが，その直前に没したのはだれか。

① 白河法皇　② 後白河法皇
③ 後嵯峨上皇　④ 後鳥羽上皇

7 和田義盛が初代別当に任じられた幕府の機関はどれか。

① 侍所　② 政所
③ 京都守護　④ 鎮西奉行

8 問注所の初代執事に任命されたのはだれか。

① 北条時政　② 北条時房
③ 三善康信　④ 大江広元

第７講　PART１　確認問題 解答

1 解答：④　**源頼政**は摂津源氏で，園城寺〔三井寺〕や興福寺の僧兵の支持を得て挙兵するが敗死した。

2 解答：③　④の**源頼朝**は，北条時政とともに伊豆国で挙兵した。

3 解答：③　④石橋山の戦い（1180 年８月）→②富士川の戦い（1180 年 10 月）→③一の谷の戦い（1184 年２月）→①屋島の戦い（1185 年２月）の順。

4 解答：④　①の壇ノ浦の戦いは 1185 年３月に長門国，②の石橋山の戦いは 1180 年８月に相模国，③の宇治川の戦いは 1184 年１月に山城国で起こった。

5 解答：④　①の**問注所**と②の公文所は 1184 年に設置された。③の**政所**は 1191 年に公文所を改組してつくられた。

6 解答：②　**後白河法皇**が没したことで，源頼朝は後鳥羽天皇から**征夷大将軍**に任命された。

7 解答：①　**侍所**は，御家人の統率などを担当する機関である。

8 解答：③　①の北条時政は初代執権，②の北条時房は初代連署，④の**大江広元**は公文所〔政所〕の初代別当。